

不登校・ひきこもり状態にある人と その家族への支援

—まちに、安心の場ができるまで—

ひきこもりは心理的な危機を経験した時に、誰もが経験する可能性があるものです。早めの相談や対応によって、安心して過ごせる機会により社会生活への影響を最小限にすることができます。

この市民公開講座では、講演を通じてひきこもり状態になったときに陥りやすい心理状態や回復への過程について紹介します。また、回復への支援にはひきこもり状態にある人の家族が安心できる場があることも重要です。山形県では、ひきこもる人と家族に出会いやすい業種の方を対象にした研修の実施や、若者相談支援拠点という民間団体と協働した相談窓口や居場所支援、出張相談会などがあります。後半のフォーラムでは、実際に支援にあたる団体の方々の紹介を通じて、ひきこもり状態にあるご本人やご家族が安心して話したり過ごしたりできる場ができることの意義と、地域や立場をこえた協働や連携の意義について考える機会としたいと思います。

- [日 時] 令和3年6月6日(日) 午後1時10分～3時20分(12時半より受付)
- [会 場] インターネット回線を通じたオンライン開催
(配信会場：山形テルサ 3階 アプローチ(山形駅西口から徒歩4分))
- [対 象] 不登校・ひきこもりの状況にある方とご家族の支援に関心のある方
(行政・教育・福祉・医療・地域づくりなどの関係者・ご家族の方)
- [内 容] 講演 「不登校・ひきこもり状態にある人とその家族への支援」
事業説明「ひきこもる人と家族にむけた支援施策」
フォーラム「不登校・ひきこもりの経験者と家族のための場づくり」
- [定 員] 遠隔50箇所 来場(配信見学)30名
- [後 援] 山形県、山形市(予定)
- [主 催] 一般社団法人日本精神保健看護学会社会貢献委員会
- [参加方法] FAX・メール・電話にて、氏名・連絡先・所属・遠隔と来場の別をご連絡
ください(情報は、このセミナーに関する連絡のみに使用いたします)。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて実施します。ご来場になる場合、直接の応答ではなく配信の見学までとなる予定です。

<問い合わせ先>

日本精神保健看護学会第31回学術集会

市民公開講座事務局 鈴木・安保

山形県山形市上柳260番地

Tel : 023-686-6611, Fax : 023-686-6736

～市民公開講座の登壇者プロフィール～

[講 演]

船越明子（ふなこしあきこ，神戸市看護大学 教授）

大阪大学医学部保健学科看護学専攻を卒業後、東京都立病院などで看護師として勤務。2010年東京大学医学系研究科 健康科学・看護学専攻 博士後期課程修了。三重県立看護大学、兵庫県立大学を経て、2019年4月より現職。著書に「ひきこもり～親の歩みと子どもの変化～，新曜社(2015年)」、「子どものこころを育むケア～児童・思春期精神科看護の技～，精神看護出版(2020年)」などがある。

[フォーラム]

ヨンロザリン（よん・ろざりん，秋田大学，光希屋（家） 理事長）

香港大学公衆衛生学講座、東京大学大学院医学系研究科を修了後、2013年に大仙市でひきこもり若者自立支援任意団体光希屋（家）「ふらっと」を立ち上げ、2015年から特定非営利活動法人光希屋（家）を設立。2016年より秋田大学公衆衛生学助教。光希屋（家）はひきこもる人のフリースペースとして運営されていて、2017年から大仙市子供・若者総合支援センターとなっている。

樋口愛子（ひぐちあいこ，クローバーの会@やまがた 代表）

2015年4月に不登校・ひきこもりの子どもをもつ親の会として活動開始。2019年4月より『山形県若者相談支援拠点設置運営事業』を受託。子ども若者が気軽に集えるフリースペースの運営、学習支援、子ども若者食堂の運営もしている。出張相談会で、山形県各地に家族のつながりをつくっている。

伊藤正俊（いとうまさとし，KHJ全国ひきこもり家族会連合会 代表）

米沢市にあるひきこもり・不登校の方の家族と本人の支援をおこなうNPO法人「から・ころセンター」の代表であり、KHJ全国ひきこもり家族会連合会の代表を兼務している。ひきこもる人の回復の支援の段階に、本人と家族のこころのケアの場があることが重要と考えている。

[座長・コーディネーター]

大熊恵子（おおくまけいこ，宮城大学 教授）

聖路加看護大学看護学部を卒業後、聖路加国際病院、東京武蔵野病院などで看護師として勤務。聖路加看護大学大学院看護学研究科博士後期課程 修了。2014年より現所属、2016年より現職。

安保寛明（あんぼひろあき，山形県立保健医療大学 教授）

東京大学大学院医学系研究科博士後期課程修了。2015年より現所属、2019年より現職。昨年度、厚生労働省社会福祉推進事業「ひきこもりの地域家族会の活動に関する調査研究事業」の考察を執筆。

市民公開講座「不登校・ひきこもり状態にある人と家族の支援」 参加申込書

（6月6日(日)13:10-15:20）

送信先 Fax : 023-686-6736（事務局 山形県立保健医療大学 鈴木・安保 宛）

氏名 団体や部署から複数名が遠隔参加する場合、代表者	
参加区分	<input type="checkbox"/> 遠隔（参加人数 人） <input type="checkbox"/> 来場（配信見学）
所属（遠隔の場合必須）	
電子メール （遠隔の場合必須）	
電話番号（必須，開催事項連絡に用います）	

ご記入いただいた情報は、この公開講座の運営に関する事項のみに使用いたします。